

豊橋かき塾。プレ講習会

新たな担い手を対象に実習講習を行う



J A豊橋は柿部会の産地規模が年々縮小傾向にあるため、これから柿栽培を始めようとする新たな担い手を対象に平成30年度から「豊橋かき塾」を開講します。開講を前に12月16日、柿栽培の概要説明や剪定作業の実習を行う「プレ講習会」を行い、25人が参加しました。

参加者は柿農家の家族で、今までで勤めていたが家業を継ごうと思っている人、柿農家に嫁いできた人などこれから柿栽培に従事しようとしている人が集まりました。

はじめに第六事業所で愛知県農業改良普及課の桑山幸子主任による「柿の栽培について」の講義が行われました。講義では特産である次郎柿の特性や一年間の柿の生育と栽培管理などが説明されました。続いて中山康幸部会長から柿部会の活動についての説明がありました。

その後、柿園に移動し、これから冬の



剪定の説明をする中山部会長(右)



柿栽培の講義をする桑山主任

時期の作業となる剪定の実習が行われました。桑山主任や部会役員、J A職員が

講師となり、6つの班に分かれ、切る枝、残す枝などを説明しました。参加者は講師の指導を受けながら実際に剪定作業を行いました。

「豊橋かき塾」は4月から開講し、5回の講義と実習を行う予定です。